

2024年2月15日

国立循環器病研究センターで頸動脈内膜剥離術（CEA）を受けられた患者様・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の観察研究を実施しております。この研究は、診療業務における病理組織評価で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などには行いません。この案内をお読みになり、ご自身あるいはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】当院にて、2002年5月9日から2010年9月1日までに頸動脈狭窄症と診断され当院脳神経外科において頸動脈内膜剥離術（CEA）を施行された方

【研究課題名】頸動脈プラーク病理像と長期予後に関する研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 病院長 飯原弘二

【研究の目的】病理形態学的検討を行うことにより、予後に影響する因子（病理形態像や炎症性因子、プラーク内出血など）を明らかにすることを目的としています。本研究の成果は、将来的に頸動脈狭窄症の有効な診断や治療法の確立に繋がることが期待されます。

【利用する診療情報】CEA病理組織像、診断名、死亡原因、年齢、性別、基礎心疾患、身長、体重、危険因子ならびに併存疾患の有無、薬物治療歴、既往歴、家族歴、合併症、収縮期/拡張期血圧、心拍数、非薬物治療歴（ペースメーカーや植込み型除細動器など）、放射線検査（CT・MRI）・核医学検査、血液データ（肝・腎機能、脂質代謝、糖代謝、貧血、炎症所見、BNP（またはNT-proBNP）、WBC、TB、Na、K、UA、Trop-T）、予後情報、心血管系イベントの有無、塞栓症イベントの有無、透析導入の有無、およびそれらイベントの日付

【外部機関への研究データの提供】上記の診療情報を、次の研究機関に個人が特定されないように処理（匿名化）した上で提供を行い、共同で研究を進めます。提供方法は、手渡しにより行います。

・ 共同研究機関及び研究責任者

1. 三重大学大学院工学研究科情報工学専攻 盛田 健人

【研究期間】研究許可日より2026年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。この研究で得られた情報を将来、二次利用する可能性や研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。二次利用する際に文書を公開する場合は、国立循環器病研究センター 公式サイト

(<http://www.nvvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに掲載いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 病理部 畠山金太
電話 06-6170-1070(代表)